

第64回国際原子力機関（IAEA）総会 概要

令和2年11月24日
外務省
不拡散・科学原子力課
国際原子力協力室

9月21日から25日まで、ウィーンにおいて第64回国際原子力機関（IAEA）総会が開催されたところ、概要は以下のとおり。なお、総会では、井上信治内閣府特命担当大臣が一般討論演説（ビデオ録画）を行ったほか、引原毅在ウィーン日本政府代表部大使が我が国政府代表として出席した。

1 井上信治内閣府特命担当大臣の一般討論演説

9月21日（初日）、井上信治内閣府特命担当大臣が一般討論演説（ビデオ録画）を行った（演説内容を別添）。

2 主要な議題

（1）北朝鮮の核問題

北朝鮮に対して、全ての核兵器及び既存の核計画の完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な方法での放棄並びに全ての関連活動の速やかな停止に向けた具体的措置をとることを強く求めること、また、全ての加盟国が、関連安保理決議に従って、自らの義務を完全に履行することの重要性を強調することなどを内容とする北朝鮮の核問題に関する決議がコンセンサスで採択された。

（2）保障措置の強化・効率化

保障措置は、核不拡散のための中核的な要素であり、効果的・効率的な保障措置の必要性、各保障措置協定締結国による協定上の義務の完全な履行の重要性を強調するとともに、事務局長から理事会に対し、引き続き国レベル・アプローチの適用を通じて得られた知見を適宜報告すること等を内容とする決議がコンセンサスで採択された。

（3）中東におけるIAEA保障措置の適用

全ての中東域内国に対してNPTへの加入及びIAEA保障措置に関連する国際的な義務の遵守を求めるとともに、全ての関係国に対して域内の非核兵器地帯設立に向けた取組を求めること等を内容とする決議が賛成多数で採択され

た。

(4) 原子力安全

原子力発電及び放射線技術の導入を検討している国の増加に伴い、加盟国の取組及び基盤の維持・向上のための IAEA 及び加盟国相互の支援を奨励すること、原子力安全関連条約の締結及びその義務の履行を加盟国に要請すること、可搬型（水上浮揚型）、小型モジュール炉、第4世代炉等の先進炉に関する原子力安全の観点からの継続的な検討を IAEA に要請すること、原子力事故時に適切に情報共有し、原子力発電及び放射線技術を扱う事業者・関係当局・公衆・国際社会における透明性を向上すること等を内容とする決議がコンセンサスで採択された。

(5) 核セキュリティ

国際社会の核セキュリティ強化における IAEA の中心的な役割を確認しつつ、2020年に開催された IAEA 核セキュリティ国際会議（ICONS2020）の閣僚宣言を考慮し2022～2025年の IAEA 核セキュリティ計画を策定するよう各加盟国に呼びかけ、2021年の改正核物質防護条約に関するレビュー会議に向けた準備を歓迎した。また、サイバー攻撃に対する効果的対策を奨励し、新たな技術に係る課題への対応や人材育成の重要性等を確認する内容の決議がコンセンサスで採択された。

(6) 原子力科学・応用活動強化等

原子力技術の応用に関しては、保健・医療、水資源管理、サイバースドルフ原子力応用研究所の改修事業等にかかる IAEA の活動についての決議がコンセンサスで採択された。

(7) 原子力エネルギー

原子力エネルギーの平和的利用に向けた IAEA の役割を確認しつつ、原子力の新規導入国の基盤整備や原子力発電所の運転技術の確立に向けた支援を IAEA に要請すること、小型モジュール炉を含む先進的な原子力技術に関する国際的な情報交換を促進するよう IAEA に要請すること、原子力発電所の経年劣化管理に関する加盟国の支援を IAEA に要請すること、原子力に関する知識管理にかかる対応を IAEA に要請すること、また、原子力分野での女性の活躍推進に向けたマリー・キュリー奨学金プログラムの実施を歓迎すること等を内容とする決議がコンセンサスで採択された。

(8) 技術協力活動強化

技術協力に関しては、原子力の平和的利用の促進に向けた I A E A による技術協力活動の強化やこの活動を通じた持続可能な開発目標 (S D G s) の達成等の開発課題への継続的な取組、効率的・効果的な事業の実施、資源動員の強化、加盟国や国際機関等との協力強化等を I A E A 事務局に求める決議がコンセンサスで採択された。

(9) I A E A と新型コロナウイルスの感染拡大

新型コロナウイルスの感染拡大を受けた I A E A の取組に関し、同感染症拡大下での I A E A の機能の維持や加盟国に対する P C R 検査機器の供与等の同感染症対策支援を歓迎する旨、また、F A O や W H O 等の国際機関との協力の重要性を確認する旨の決議がコンセンサスで採択された。

(10) Z O D I A C (統合的人畜共通感染症行動)

グロッシェ事務局長の新たなイニシアティブである Z O D I A C 事業に関し、I A E A による人畜共通感染症対策支援である本件事業の提案を歓迎するとともに、同事業にかかる加盟国への更なる情報提供や、原子力及び原子力由来技術に焦点を置いた取組、効果的・効率的で重複のない事業の運用、F A O や W H O 等の他の国際機関との役割の整理等を求める決議がコンセンサスで採択された。

(了)